

## 2025年度事業報告

### 【放射能測定事業】

#### ○海洋調査について

福島第一原発の事故から15年経ちましたが、海の放射能汚染に対する不安は、今も大きな懸念のひとつです。事故直後には、近傍の海水から最大10万Bq/L（環境省発表）もの放射性物質が検出されるなど、深刻な状況が確認されました。その後も、放射性物質はさまざまなかたちで海に流れ込む可能性があります。たとえば、

- ・ 原発からの直接的な流出
- ・ 空气中に放出された物質が海に降り注ぐ
- ・ 陸に降った物質が川や地下水を通じて海へ流れる

さらに、2023年8月からは、福島第一原発の敷地内に溜まっていた処理汚染水の海への放出が始まりました。東京電力の発表によると、2024年度にはストロンチウム90が約4,000万ベクレル、トリチウムが約12.7兆ベクレルと、前年よりも大きく増えています。ALPSなどの除去装置が稼働しているとはいえ、放射性物質が完全に除去されるわけではなく、今後の濃度上昇の可能性も懸念されています。こうした状況を受けて、私たちは、2015年から福島第一原発沖合約1.5kmの海域で、年に2~4回のサンプリング調査を続けています。2025年度も、地元の漁師さんの協力を得ながら、地域のボランティアの皆さんと一緒に調査を行いました。この活動は、ただ数値を測るだけではありません。「見えないものを見る形にする」ことで、多くの人が抱える不安を少しでも和らげ、未来を考えるための土台をつくることだと、私たちは考えています。測定結果は、できるだけわかりやすく伝えるよう心がけ、報告書や説明会、SNSなどを通じて広く共有しました。

#### ○その他の測定について

**放射性セシウム**：2025年度は、依頼検体の測定に加え、放射能の汚染が比較的高い傾向にある山菜類・きのこ類等について、昨年度と同様に季節ごとの測定を実施しました。また、福島県および近隣県における、きのこ・たけのこ・山菜等の出荷制限および出荷自粛の状況を調査したところ、制限が解除されていたのは福島県内の3地点のみでした。これは昨年度と比較しても大きな変化は見られず、事故から15年が経過した現在においても、汚染状況が依然として継続していることを確認しました。さらに、子どもたちの健康を守る観点から、海水浴場の海砂や公園等における空間線量および土壌の環境測定も継続的に実施しました。

**トリチウム**：政府による処理汚染水の海洋放出の決定を受け、全国の協力者から提供された海水・水道水・河川水等、計66試料の測定が終了しました。また、トリチウムが大気中の水蒸気に取り込まれて存在することから、いわき市小名浜を地点とし年2回の雨水採取を行い、今後も継続的に分析を実施していきます。

**ストロンチウム90**：依頼や自主検体の測定に加え、公園で採取した土壌のうち、放射性セシウム濃度が1,000Bq/kg乾を超える試料について、ストロンチウム90の分析を実施しました。

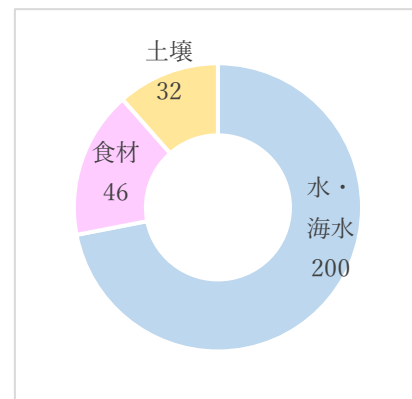
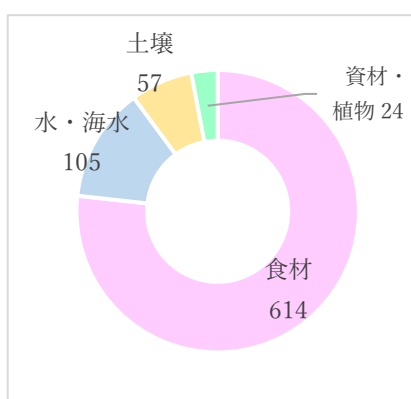
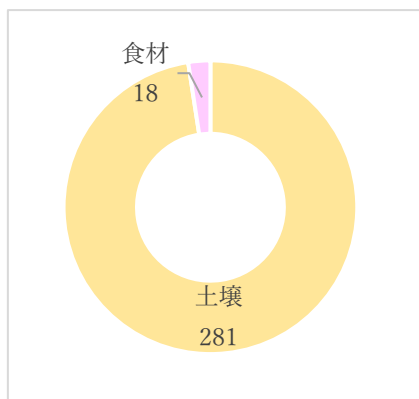
## ○2025 年度測定件数

合計 1,377 件(セシウム 137、セシウム 134、ストロンチウム 90、トリチウム)

Nal シンチレーション測定器による測定  
(セシウム 137、セシウム 134)  
総測定件数：299 件

ゲルマニウム半導体測定器による測定  
(セシウム 137、セシウム 134)  
総測定件数：800 件

液体シンチレーションカウンターによる測定  
(ストロンチウム 90、トリチウム)  
総測定件数：278 件



## ゲルマニウム半導体検出器による種類別セシウム 137 濃度

	サンプル数	セシウム 137 測定結果 単位 Bq/kg			水試料 単位 Bq/L	備考
		ND	1 未満	1 以上 10 未満		
<b>●白米・玄米</b>						
福島県内	12	1	10	1	最大 4.1Bq/kg 玄米(福島県双葉郡浪江町)	
県外	5	3	2		最大 0.19Bq/kg 玄米(宮城県角田市)	
<b>●野菜</b>						
福島県内	168	122	31	15	最大 5.5Bq/kg つぼみな(福島県郡山市)	
県外	186	170	13	3	最大 2.2Bq/kg さつまいも(茨城県)	
<b>●果物</b>						
福島県内	36	15	14	7	最大 1.9Bq/kg 栗(いわき市)	
県外	11	10	1		最大 0.2Bq/kg すだち(宮城県伊具郡)	
<b>●キノコ</b>						
福島県内	19	1	4	8	5	最大 34.9Bq/kg 乾燥シイタケ(福島県福島市)
県外	39	18	7	10	4	最大 145Bq/kg 干シイタケ(茨城県北茨城市)
<b>●山菜・タケノコ</b>						
福島県内	21	5	5	9	2	最大 154Bq/kg こしあぶら(いわき市三和町)
県外	26	18	3	4	1	最大 238Bq/kg 茹でタケノコ(茨城県)
<b>●水産物</b>						
福島県内	34	3	29	2	最大 1.4Bq/kg シロメバル(福島第一原発沖)	
県外	22	12	10		最大 0.53Bq/kg クロソイ(宮城県仙台湾)	

	サンプル数	ND	1未満	1以上 10未満	10以上	備考
福島県内	18	8	7	3		最大 3.5Bq/kg 干し芋(福島県双葉郡楡葉町)
県外	17	16	1			最大 0.3Bq/kg おから(国産)
<b>●植物・資材</b>						
福島県内	18	3		4	11	最大 1297Bq/kg 掃除機のゴミ(いわき市泉ヶ丘)
県外	6	1	3	2		最大 2.9Bq/kg 竹炭(茨城県常陸大宮市)
<b>●土壌</b>						
福島県内	57				57	最大 2457Bq/kg 土壌(いわき市平)
県外	—					
<b>●水試料</b>						
福島県内	68	40	28			最大 0.018Bq/L 海水(福島第一原発沖)
県外	37	26	11			最大 0.004Bq/L 海水(宮城県/仙台湾)

## ○2025 年度測定ラボの主な活動

### 海洋調査

- ・福島第一原発沖海洋調査 2025年7月、11月実施…詳細については、別紙で報告
- ・福島県沿岸採水調査 2025年6月、2026年1月実施…詳細については、別紙で報告
- ・宮城県仙台湾沖海洋調査 2025年4月、9月沖合実施…詳細については、HPより
- ・宮城県沿岸採水調査 2025年6月、11月沿岸実施…詳細については、HPより
- ・HP URL→<https://tarachineiwaki.org/radiation/result#kaiyou>

### 環境測定

- ・海砂サンプリング…4,5,6月実施 岩沢海水浴場(双葉郡楡葉町)・四倉海水浴場(いわき市)  
薄磯海水浴場(いわき市)・勿来海水浴場(いわき市)
- ・いわき市の公園測定…1年を通じて実施 全25箇所
- ・雨水の測定…年2回 6月、12月 いわき市小名浜花畑町

### その他

- ・福島県沖合・沿岸の調査結果を各回ごとにまとめ、いわき市に提出し情報の共有
- ・テクニカルアドバイザーの方々との勉強会を実施
- ・HP や SNS で毎月の測定結果を掲載し、情報発信



## ○福島沿岸調査 採水調査結果

2025年6月と2026年1月に実施しました。なお、1月分の調査につきましては、当初は12月に予定しておりましたが、岩手県沖で発生した地震の影響により、やむを得ず延期する判断をしました。その後も余震が続いていたため、安全面を最優先に検討し、いわき市での調査のみ実施しました。



- 採取検体
  - ・海水
- 測定核種
  - ・セシウム137・セシウム134
  - ・ストロンチウム90
  - ・トリチウム



### ○採取地点

### ○海水採取

- ・表層を採取する。
- ・水汲みバケツにより採取。  
セシウム用=20L、ストロンチウム用=20L、トリチウム用=2L

### ○ラボに帰ってからは・・・

- ・海水はろ過（セシウム、ストロンチウム）・蒸留（トリチウム）後に、それぞれの測定用前処理。

地点名	市町村	原発からの距離
相馬港	相馬市原釜大津	北約45km
萱浜,村上海岸	南相馬市原町区萱浜,村上	北約16km
請戸港	双葉郡浪江町請戸	北約6.5km
双葉海水浴場 (マリンハウス双葉)	双葉郡双葉町	北約3.5km
熊川河口付近	双葉郡大熊町熊川	南約3km
富岡港	双葉郡富岡町仏浜	南約9.5km
岩沢海水浴場 (広野火力横)	双葉郡橋本町	南約20km
四倉港	いわき市四倉	南約36km
江名港	いわき市江名	南約50km
小名浜港	いわき市小名浜	南約55km
小浜港	いわき市小浜	南約60km

## 海水 放射性セシウム 137 測定結果(Bq/L)

セシウム137	相馬港	村上海岸	請戸港	双葉海水浴場	熊川河口	富岡港	岩沢海水浴場	四倉港	江名港	小名浜港	小浜港
2024年5,6月	0.003±0.0005	0.004±0.0005	0.007±0.0006	0.012±0.0006	0.006±0.0005	0.009±0.0006	0.006±0.0006	0.018±0.0007	0.005±0.0005	0.003±0.0005	0.003±0.0005
2026年1月	岩手県沖地震発生のため中止							0.006±0.001	0.003±0.001	ND<0.002	0.003±0.001

## 海水 ストロンチウム 90 測定結果(Bq/L)

ストロンチウム90	相馬港	村上海岸	請戸港	双葉海水浴場	熊川河口	富岡港	岩沢海水浴場	四倉港	江名港	小名浜港	小浜港
2024年5,6月	ND<0.0004	ND<0.0004	0.0008±0.0003	0.0008±0.0003	0.0012±0.0004	0.0008±0.0002	0.0009±0.0003	0.0009±0.0003	0.0013±0.0003	0.0006±0.0002	ND<0.0006
2026年1月	岩手県沖地震発生のため中止							0.0011±0.0003	未測定	ND<0.0004	未測定

## 海水 トリチウム測定結果(Bq/L)

トリチウム	相馬港	村上海岸	請戸港	双葉海水浴場	熊川河口	富岡港	岩沢海水浴場	四倉港	江名港	小名浜港	小浜港
2024年5,6月	0.14±0.05	0.08±0.04	0.13±0.05	0.09±0.04	0.17±0.05	0.10±0.04	0.43±0.05	0.11±0.04	0.10±0.04	0.10±0.04	0.09±0.05
2026年1月	岩手県沖地震発生のため中止							未測定	未測定	未測定	未測定

※「未実施」は、順次分析中です。分析が終了次第、HP 及び海洋調査測定結果でお知らせいたします。

HP URL→<https://tarachineiwaki.org/radiation/result#kaiyou>



○福島第一原子力発電所沖合 海洋調査結果

2025年7月、11月に実施しました。毎回できるだけ同じ場所・同じ方法で採取し、長期間にわたってデータを比較できるようにしています。

○調査 ・2015年9月～2025年11月まで 全29回

○採取検体

- ・海水
- ・魚類
- ・プランクトン

○測定核種

- ・セシウム137 ・セシウム134
- ・ストロンチウム90
- ・トリチウム

○採取地点

- ・第一原発沖1.5km程度の地点4ヶ所 (A地点、B地点、C地点、D地点) で採取
- ・2021年5月21日の調査より、D地点追加



○海水採取

- ・表層と下層の2層を採取する
- ・表層は水汲みバケツで、下層はバンドーン式採水器により採取する  
セシウム用=20L、ストロンチウム用=20L、トリチウム用=2L
- ・採取地点の緯度経度については、船長に確認し記録をとる

○魚採取

- ・釣りにより魚の採取をする
- ・10匹程度を目安として、同種を多く採取した場合は海に返す

海水

放射性セシウム 137 測定結果(Bq/L)

実施日	海水A 表層	海水A 下層	海水B 表層	海水B 下層	海水C 表層	海水C 下層	海水D 表層	海水D 下層
2025/7/1	0.018±0.001	0.002±0.001	0.010±0.001	ND<0.002	0.004±0.001	ND<0.002	ND<0.002	ND<0.002
2025/11/12	0.005±0.001	0.002±0.001	ND<0.002	0.003±0.001	ND<0.002	ND<0.002	ND<0.002	0.006±0.001

ストロンチウム 90 測定結果(Bq/L)

実施日	海水A 表層	海水A 下層	海水B 表層	海水B 下層	海水C 表層	海水C 下層	海水D 表層	海水D 下層
2025/7/1	0.0008±0.0003	0.0007±0.0003	0.0007±0.0003	0.0009±0.0003	0.0013±0.0003	0.0009±0.0003	ND<0.0006	ND<0.0006
2025/11/12	ND<0.0005	ND<0.0007	ND<0.0005	ND<0.0005	ND<0.0005	0.0007±0.0003	0.001±0.0003	0.0008±0.0003

トリチウム測定結果(Bq/L)

実施日	海水A 表層	海水A 下層	海水B 表層	海水B 下層	海水C 表層	海水C 下層	海水D 表層	海水D 下層
2025/7/1	0.23±0.05	0.17±0.05	0.68±0.06	0.33±0.05	0.36±0.05	0.69±0.06	0.23±0.05	0.37±0.05
2025/11/12	0.43±0.05	0.43±0.05	0.24±0.05	0.20±0.05	0.31±0.06	0.26±0.06	0.16±0.04	0.37±0.05

HP URL→<https://tarachineiwaki.org/radiation/result#kaiyou>

魚 2025年11月12日実施時に採取の一部

【魚 測定結果】	アイナメNo.1	ヒラメNo.2	ヒラメNo.3	ヒラメNo.4	シロメバルNo.5	キツネメバルNo.6	キツネメバルNo.7	シロメバルNo.8	シロメバルNo.9	シロメバルNo.10	シロメバルNo.11	シロメバルNo.12
質量	0.41 kg	0.505 kg	0.52 kg	0.51 kg	0.28 kg	0.315 kg	0.310 kg	0.305 kg	0.28 kg	0.275 kg	0.295 kg	0.295 kg
体長	35.5 cm	42.0 cm	45.0 cm	44.0 cm	23.5 cm	27.0 cm	26.5 cm	25.5 cm	23.5 cm	22.5 cm	24.0 cm	24.5 cm
北緯	37° 24' 63"		37° 24' 59"		37° 24' 50"		37° 24' 49"					
東経	141° 04' 12"		141° 04' 12"		141° 04' 22"		141° 04' 21"					
水温	16.9 °C		16.9 °C		16.9 °C		16.9 °C					
水深	19.5m		20.8m		20.1m		20.3m					
	測定値	検出 下限値	測定値	検出 下限値	測定値	検出 下限値	測定値	検出 下限値	測定値	検出 下限値	測定値	検出 下限値
セシウム137 (Bq/kg乾)	0.6±0.05	0.08	0.1±0.04	0.09	0.2±0.02	0.06	0.1±0.04	0.08	0.6±0.04	0.1	0.3±0.1	0.2
セシウム134 (Bq/kg乾)	ND	0.08	ND	0.08	ND	0.1	ND	0.1	ND	0.1	ND	0.2
ストロンチウム90 (Bq/kg乾)	ND	0.09	ND	0.09	ND	0.09	ND	0.1	ND	0.1	ND	0.2
トリチウム (Bq/kg乾)	ND	0.37	ND	0.38	ND	0.37	ND	0.37	ND	0.37	ND	0.37
セシウム137 (Bq/kg湿)	ND	0.08	ND	0.08	ND	0.1	ND	0.1	ND	0.1	ND	0.2
セシウム134 (Bq/kg湿)	ND	0.08	ND	0.08	ND	0.1	ND	0.1	ND	0.1	ND	0.2
ストロンチウム90 (Bq/kg湿)	ND	0.09	ND	0.09	ND	0.09	ND	0.09	ND	0.09	ND	0.2

※ND(不検出)は、放射性物質が全く存在しないことを意味するのではなく、測定値が検出下限値未満であることを示します。

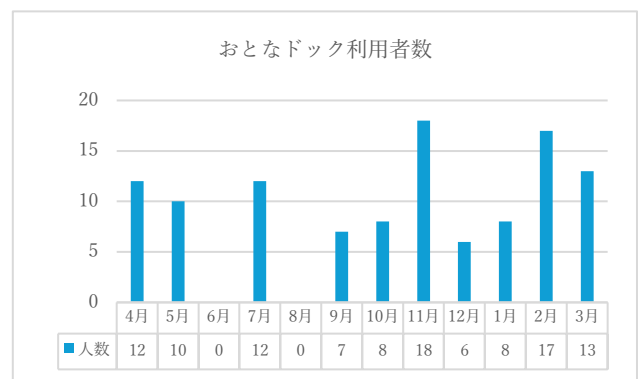
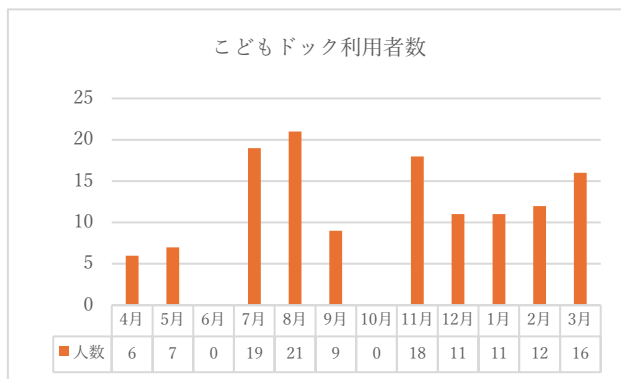
HP URL→<https://tarachineiwaki.org/radiation/result#kaiyou>

## 【クリニック事業】

2025年度も感染予防に配慮しつつ、診療や健診を実施いたしました。開院当初から継続している、原発事故当時18歳以下だった方を対象とした「こどもドック」も引き続き行っております。受診された方に「こどもドック手帳」を作成し、甲状腺検査、ホールボディーカウンター、尿中セシウム測定、血液・尿検査、心電図などの結果を記録し、本人や保護者へお渡ししています。特に尿中セシウム検査については、数値だけでは理解が難しいため、解説を加えた報告書を作成し、対面または郵送で丁寧に説明するよう努めてきました。さらに、2020年度から開始した、双葉郡および周辺地域に居住または勤務している方を対象とした無料の健康診断も継続して実施いたしました。

### ○こどもドック・おとなドック利用者数

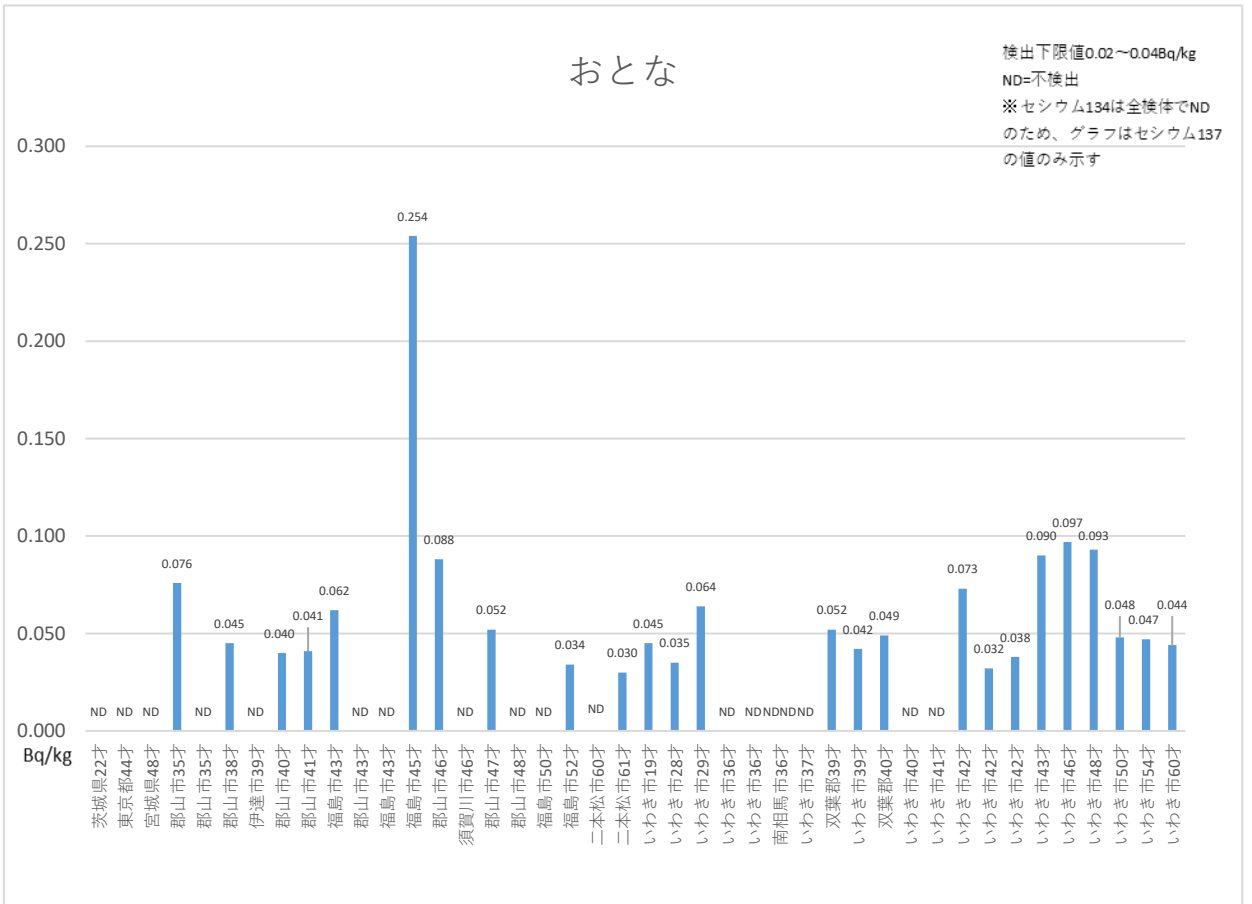
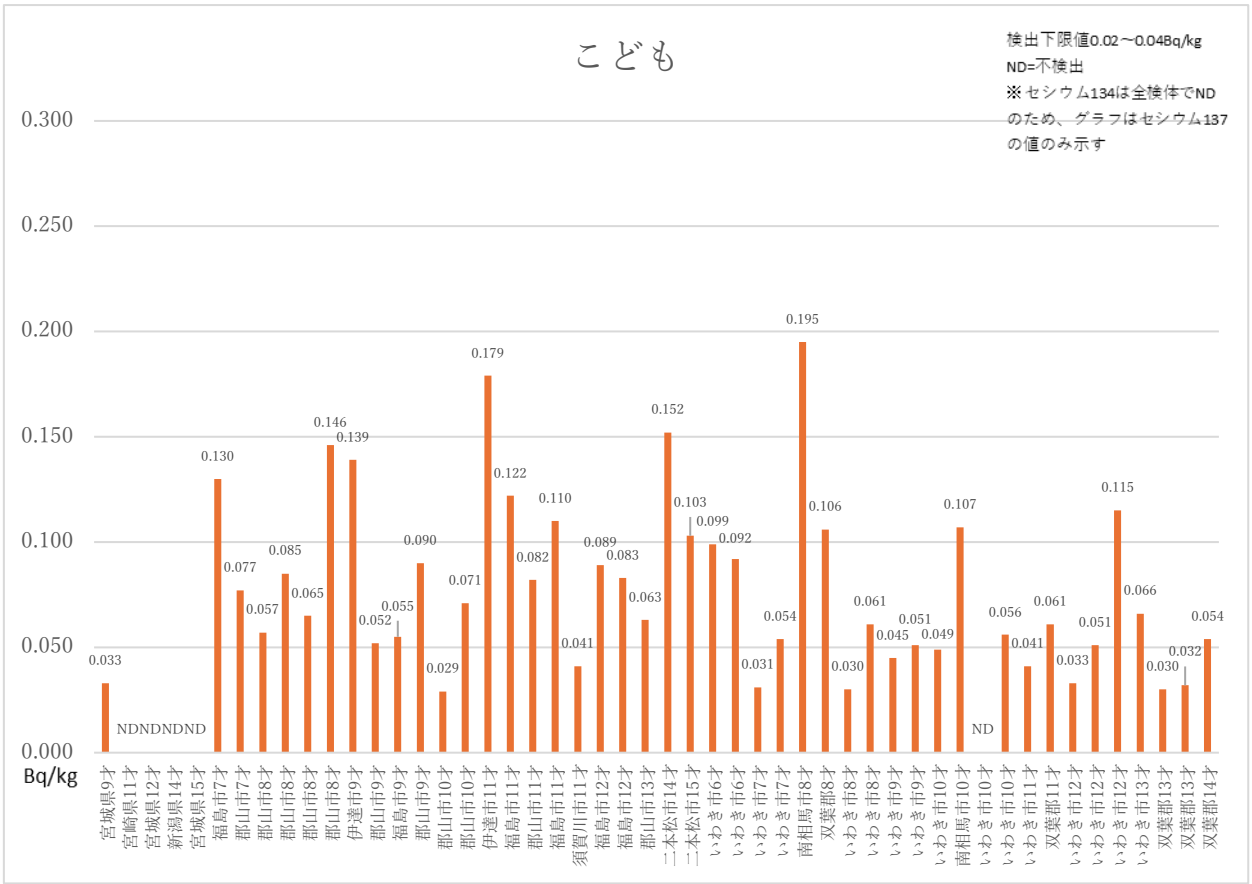
昨年はこどもドック130名、おとなドック111名利用されました。こどもドックは、長期休みを利用して、受けられる方が多くいらっしゃいました。おとなドックは、廃炉作業や建設作業に従事されている方が多く利用されました。原発事故から15年が経過し、震災当時幼かった子どもたちも成長し、それぞれの立場で社会を支えています。今後もあらゆる年代の方々の健康を見守り、支援していきたいと考えています。



### ○尿中セシウム測定

東日本大震災以降、体内の被ばく状況を把握する手段として、尿中セシウム測定が提案されました。福島県では、内部被ばくの実態をより詳しく知るため、この検査が実施されています。簡易的なホールボディーカウンターによる測定も行われていますが、尿中セシウム測定は内部被ばくの変化を継続的に把握しやすいため、防護の観点からも継続的な確認が重要とされています。そのため、たちねでは、2015年よりNPO法人新宿代々木市民測定所と連携し、尿中セシウム測定を行ってきました。これまでに1000名以上の方が受検され、年間でも約100名の方が測定を受けています。検査結果をきっかけに、日々の食事や生活習慣を見直し、被ばく低減につながったケースも多く見られます。

今後も、健康を守るための取り組みとして、尿中セシウム測定を継続していきます。



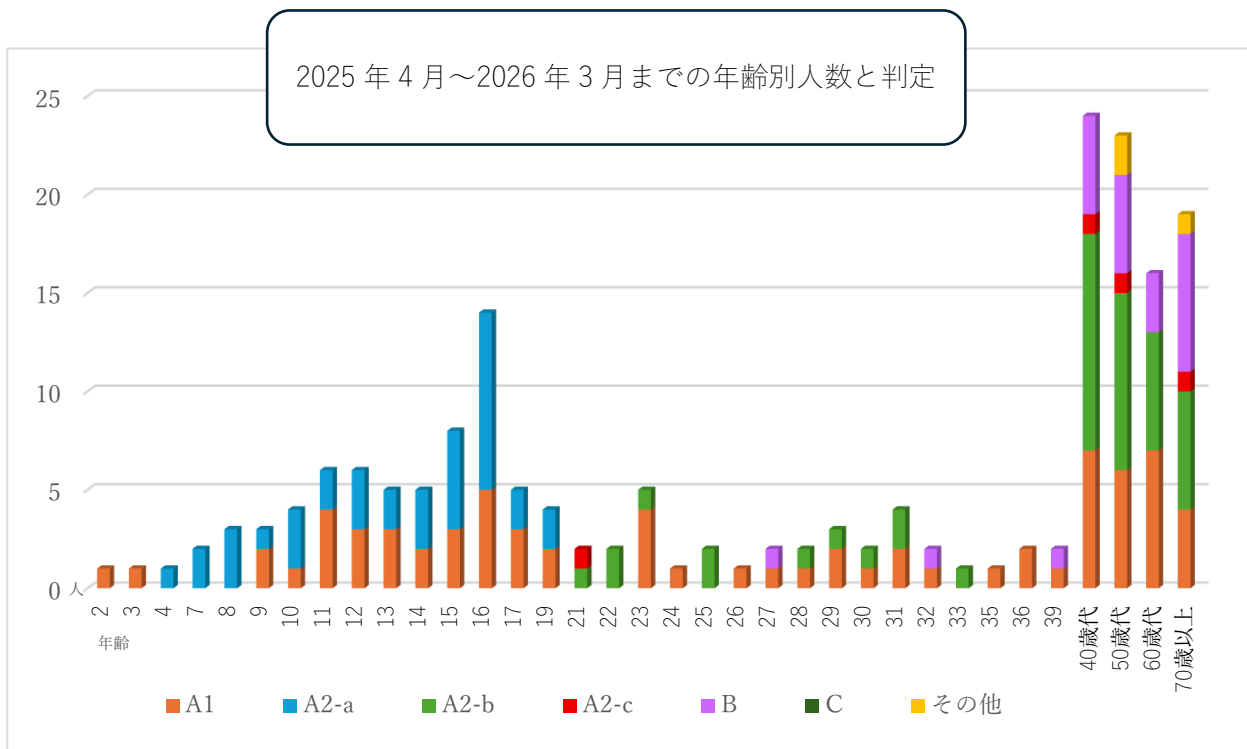
【甲状腺検診】

2025年4月～2026年3月までの甲状腺検診の受診者人数は184人でした。出張甲状腺検診は7か所を実施し、県外での受診者が多い状況でした。

福島県民健康調査の甲状腺検診対象者年齢（1992年4月2日～2012年4月1日生まれ）で、たちねで受診された方は75人で、判定の内訳はA1 35人 A2-a 26人、A2-b 11人、A2-c 1人、B 2人でした。

2026年度は8か所での出張甲状腺検診を予定しており、これからも不安の軽減につながるよう出張甲状腺検診を継続してまいります。

出張検診日	場所	人数
7月12日	郡山市民交流プラザ(郡山市)	28
7月27日	なみえ道の駅(双葉郡)	9
8月24日	山形置賜総合文化センター(山形県)	16
9月28日	いわきら・ラ・ミュウ(いわき市)	18
10月5日	角田市民センター(宮城県)	48
11月1日	パルシステム東京(東京都)	20
12月7日	北茨城市民ふれあいセンター(茨城県)	45
合計		184



A1 所見が認められなかったもの A2-a 発育期の過程で発生するのう胞 A2-b 発育期の反応ではないのう胞 A2-c 結節 1 mm～5 mm B 5.1 mm以上の結節や 20.1 mm以上ののう胞 C 直ちに二次検査を要するもの その他 のう胞、結節は無いが甲状腺に異常が認められるもの

【たらちねこども保養相談所と沖縄・球美の里】

○ 2025 年度 実施状況

実施回数：9 回

利用者：子ども 48 名、保護者 31 名、合計 79 名

2025 年度は、沖縄・球美の里保養プロジェクトを中心に活動を実施しました。たらちねの保養相談所が募集、送り出しを行い、久米島事務局が球美の里での保養を実施する仕組みです。球美の里全体としては、2012 年の開始から 182 回、子ども 4082 名、保護者 1130 名、合計 5212 名の受け入れをしてきました。

○ 保養の役割と変化

東日本大震災から 15 年になる今、保養の意味も変化しています。内部被ばくの軽減に加え、保養により、こころの疲労も癒す役割が求められています。たらちねでは、こころのケア事業「あとりえ・たらちね」と連携し、利用家族に立体的にアプローチできる体制を構築してきました。

震災以降、被災地の家族の中では、被ばくの問題について「言っではいけない、言わないほうがいい」との暗黙の常識が蔓延し、不安なことや大事な話を避ける傾向があります。それは、被ばくの問題以外にも波及し、子どもたちにとっても、両親にわだかまりが生じている状況が続くことは、精神的に追い詰められる結果になります。そんな中、「あとりえ・たらちね」では、母子の利用が中心になっており、父親も交えて考えることに難しさがありました。

保養は家族で参加できるので、そこで家族が同じ体験をし、ゆったりした時間の中で、これまでの人生を振り返る時間を持ち、両親が家族には語ってこなかった辛いことや悲しいことも共有する場面もありました。保養前後で、家族の関係が全く違ったようになる方々もおられました。帰宅後に家族全員で「あとりえ・たらちね」を利用するケースもあります。こころのケア事業と保養の連携は、保養中のみならず、帰宅後の日常にも良い結果がもたらされています。

原発事故の被災地では、様々な問題が次々と発生し、子どもたちの未来に大きく影響する出来事も起き続けています。子どもたちにはまっすぐな目で自分のことや世の中のことを見据え、いずれは力強く社会を支えてもらいたいと願っています。そのためには、子どもたちが育つ家庭のあり方はとても重要です。保養事業が、それらを支え応援できる一助になればと願っています。

2025 年度 実施日程	4/25-4/29	5/12-5/16	7/2-7/6	10/8-10/12	10/27-10/31	12/3-12/7	12/23-12/27	3/4-3/8	3/20-3/24
子ども	3	6	3	9	5	6	6	6	4
保護者	4	4	2	4	4	3	4	4	2
合計	7	10	5	13	9	9	10	10	6

2025 年度  
球美の里で遊ぶ  
子どもたちの様子



## 【あとりえ・たらちね こころのケア事業】

たらちねでは、こころのケア事業として、あとりえ たらちねを開設し、今年で8年目となりました。お子さんやお母さんの元気をサポートするため、それぞれの語り（ナラティブ）が安心してできる守られた空間と、遊び、こころの疲れをほぐすボディーワークなどを中心に様々なメニューを揃え、事業を展開しています。

2025年度の利用人数は延べ193名。内訳は、保護者が延べ124名、子どもが延べ69名でした。

### ○お母さん面談とナラティブ

子どもの不登校や思春期、家庭の中での悩みなど、お母さんたちは日々さまざまな思いを抱えています。「学校に行けなくなってしまった」「自分の子育てが間違っていたのでは、と苦しくなる」など、誰にも言えずに抱え込んでしまうことも少なくありません。あとりえでは、自分の気持ちを安心して語れることを大切にしています。誰かに話すことで、張りつめていた気持ちが少しゆるみ、その時間の積み重ねが、お母さん自身の元気を少しずつ取り戻していくことにつながっていくと感じています。

### ○子どもの様子

「朝のもり」と「夜のもり」という2つの部屋で、子どもたちは思い思いに過ごしています。箱庭あそびや工作、ごっこ遊び、ボードゲームなど、夢中になって遊ぶ姿や、安心して横になる姿もあります。安心してできる場所で、夢中になって遊ぶ経験は、元気の種となり、子どもたちが次に挑戦する意欲、生きる力へとつながっていくと思っています。

### ○Hahaのカフェ ～ 子育てとナラティブ ～ 7回開催 / 親子イベント 2回 計9回

お茶を飲みながら、学び、体験し、語り合う時間です。2025年度は、ピラティス、3.11に学ぶこころのケア、レジンアクセサリー作り、10代の脳の理解、世代間伝達のお話、ハンドマッサージなどを行い、夏休み・春休みは親子で楽しめるイベントも企画しました。からだをゆるめること、学ぶことで不安が少し整理されること、誰かの話に「私だけじゃなかった」と感じることで、そのひとつひとつが、日々の子育てを支える力になっていると思います。

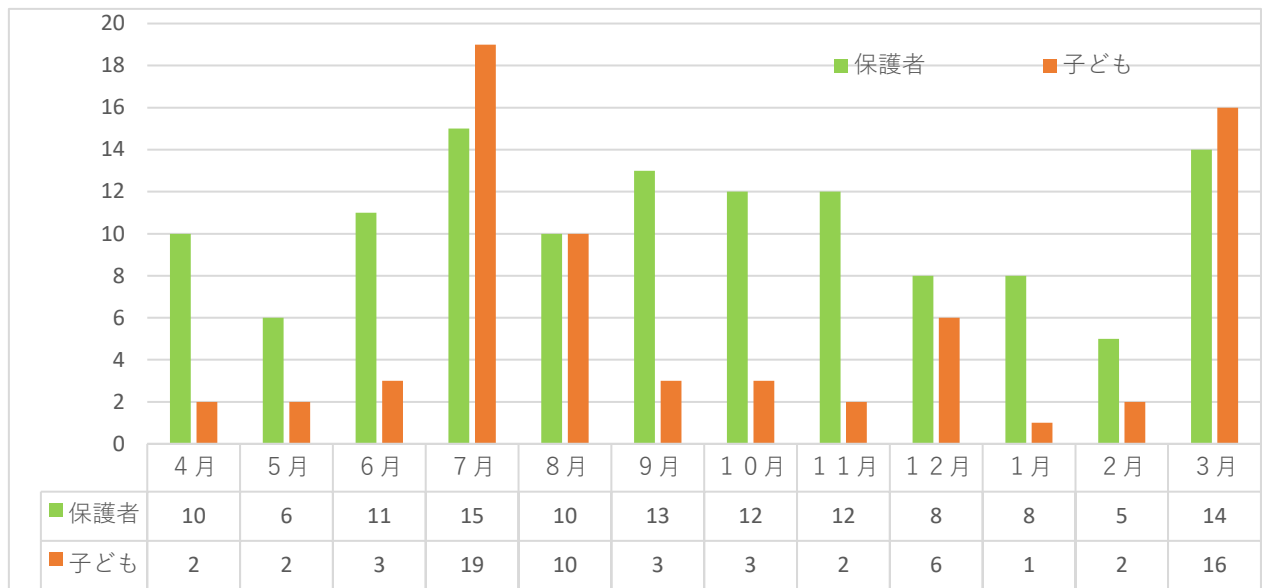
### ○研修会

専門家の先生方のもとで学びを深めたり、外部で開催されている研修会にも参加しています。

- ・いわき乳幼児精神保健学研修会
- ・ふくしま広域こころのケアねっと全体会
- ・PEP UP Labo「最新の赤ちゃんの心」 こうした学びは、目の前の親子をより深く理解することにつながり、現場での安心にもつながっています。

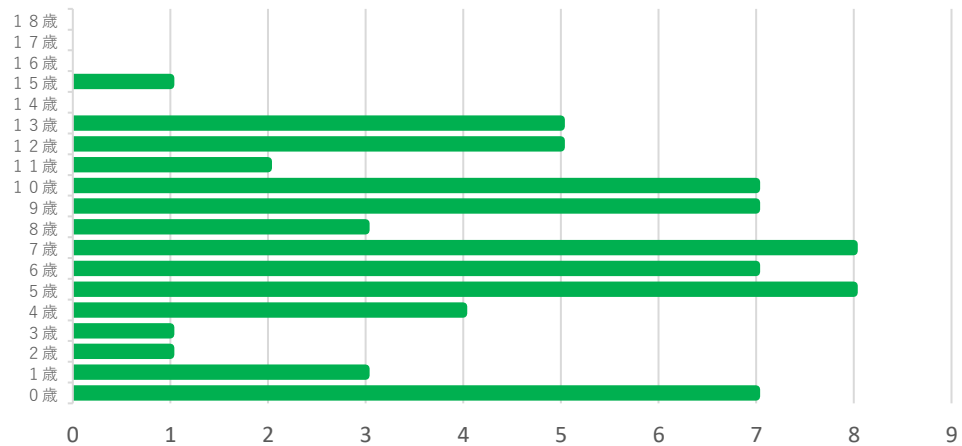


○子どもと保護者の利用人数

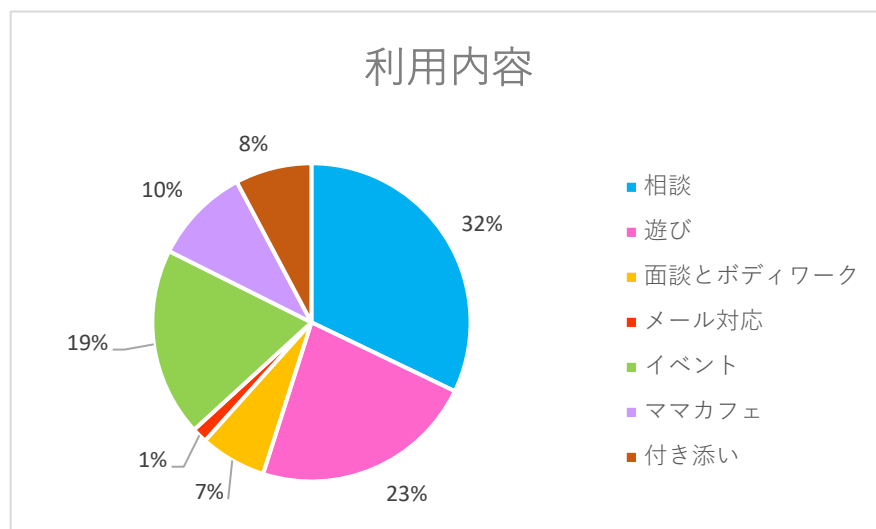


○子ども利用者 年齢別

子ども利用者年代別



○利用内訳



### 【たらちね大相談会】

郡山市（ビッグアイ）・双葉郡浪江町（道の駅なみえ）・いわき市（いわき・ら・らミュウ）の3会場であらちね大相談会&出張甲状腺検診を実施しました。

今回の大相談会は、初めて甲状腺検診を受診する方がいました。安心できるようお声がけしました。また、中高生の大きなお子さんがワークショップに参加したり、沖縄保養の説明を受けるお母さんの隣でワクワクしているお子さんなど、和気あいあいとした雰囲気を実施することができました。

たらちねこどもドックに関心があった患者さんには、看護師が丁寧に来院から結果説明までの流れをご案内しました。



1.たらちねこどもドックの様子

2.箱庭を体験している様子

3.ワークショップを楽しむ様子

### 【イベント開催・勉強会・研修会・講演会・登壇一覧】

#### ○イベント

- ・2025年4月10日 第1回 3.11に学ぶこころのケア  
講師 鈴木薫 参加者 3名
- ・2025年5月27日 第2回 レジンのアクセサリー教室  
講師 Sorahana 参加者 3名
- ・2025年6月24日 第3回 ナラティブの時間  
講師 たらちねスタッフ 参加者 2名
- ・2025年7月30日 夏休み特別企画 親子工作教室  
講師 小林一男 参加者 20名
- ・2025年9月12日 第4回 世代間伝達  
講師 たらちねスタッフ 参加者 2名
- ・2025年10月17日 第5回 ハンドマッサージ  
講師 加藤サキ子 参加者 4名
- ・2025年11月18日 第6回 10代の脳を理解する～前頭葉～  
講師 たらちねスタッフ 参加者 1名
- ・2026年1月22日 第7回 身体をほぐすストレッチ  
講師 草野千恵美 参加者 3名
- ・2026年3月24日 春休み特別企画 親子でレジンのキーホルダー作り  
講師 Sorahana 参加者 17名

### ○勉強会・研修会

- ・2025年6月4日 第4回いわき乳幼児精神保健学研修会  
講師 渡辺醫院副院長 渡邊久子先生 参加者2名
- ・2025年7月18日 第1回トレヴァーゼン講座  
講師 渡辺醫院副院長 渡邊久子先生 参加者2名
- ・2025年7月24日 第5回いわき乳幼児精神保健学研修会  
講師 渡辺醫院副院長 渡邊久子先生 参加者2名
- ・2025年8月22日 第1回ふくしま広域こころのケアねっと全体会  
講師 相馬広域こころのケアセンターなごみ 米倉一磨  
講師 福島県CAPグループ連絡会 CAPいわき
- ・2025年9月4日 PEP UP Labo 第50回記念 最新の赤ちゃんの心  
講師 渡辺醫院副院長 渡邊久子先生 参加者1名
- ・2025年11月19、20日 JQAN 主催第2回対面スフィア研修
- ・2026年2月6日 第6回いわき乳幼児精神保健学研修会  
講師 渡辺醫院副院長 渡邊久子先生 参加者2名

### ○登壇

- 2025年4月24日 福島原発震災情報連絡センター  
・被災地スタディーツアー
- 2025年11月30日 一般社団法人 日本乳幼児精神保健学会 被災地支援委員会  
「文化・地域・歴史から見た災害とこころの防災」
- 2026年1月19日 緑の党グリーンズジャパン 311を忘れない  
・「脱原発連続セミナー」
- 2026年2月17日 WE21 ジャパンみなみ
- 2026年2月21日 NPO 法人福島の子どもたち 香川へおいでプロジェクト  
・「子どもと暮らしを守る…おとなの責務と福島の役割」

### ○講演会

- ・2025年11月11日 宇都宮聰 勉強会  
講師 宇都宮聰先生 参加者10名（たらちね内）
- ・2025年6月7日 添田孝史講演会 「原発と地震 そこに造ってよかったですか」  
講師 添田孝史先生 参加者 会場44名 オンライン12名
- ・2026年2月28日 今中哲二講演会  
「原子力の歴史を振り返りながら なぜ日本の原発がなくならないか考える」  
講師 今中哲二先生 参加者 会場33名 オンライン40名

【見学・取材・メディア掲載情報】

○見学者・取材件数

・見学者：63名 取材件数：2件

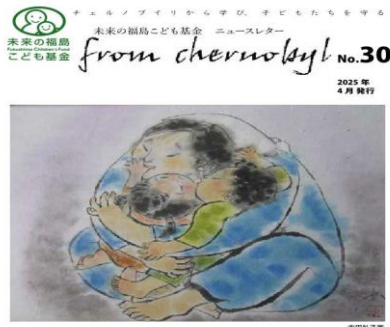
○SNS フォロワー数

・フェイスブック 15,096人・インスタグラム 1,771人・X (旧ツイッター) 792名

(2026年3月31日現在)

○メディア掲載一覧

■2025年4月「未来の福島子ども基金ニュースレターNo.30」



福島第一原発事故から14年 なかったことにされる人びと

もくじ 1 東日本大震災・福島第一原発事故から14年 たちねの復興と未来の子ども基金の活動 2/ わたしたちの活動 3/ 未来の子ども基金 4/ 保護受け入れ団体の活動 12/ 汚染処理の最新情報 13/ わたしたちの活動 14

東日本大震災・福島第一原発事故から14年 3月11日に思うこと

「あの日」から14年が経ちました。震災の目的記憶が、より鮮明に浮き彫りとなり、震災直前が引き戻されたような印象です。目的が忘れ、目的記憶は奪われてい年中/能あることだとしたら、私の中で震災の記憶は消え出したものなのだ。そんなことを思いました。

「あの日」から14年が経ちました。震災の目的記憶が、より鮮明に浮き彫りとなり、震災直前が引き戻されたような印象です。目的が忘れ、目的記憶は奪われてい年中/能あることだとしたら、私の中で震災の記憶は消え出したものなのだ。そんなことを思いました。

Newsletter content including contact information for 'from chernobyl' and a QR code for the newsletter.

■2026年3月20日「反原発新聞」

Article titled '15年後の汚染状況' (Contamination Status 15 Years After) by Ritsuko Suzuki, discussing Fukushima's contamination and cleanup progress.